

トップメッセージ



株式会社博報堂DYホールディングス
代表取締役社長
(博報堂DYグループCSR委員会 委員長)

戸田 裕一

戸田 裕一

博報堂DYグループのCSR

生活者、社会の刻々と変化する課題を解決し、新たな価値を提供していくことによって、生活者、社会の中に新しい幸せを生み、幸せをつなげ、ともに広げていくこと。これが博報堂DYグループが目指すCSRの基本理念です。

2014年、博報堂DYホールディングスに「博報堂DYグループCSR委員会」を設置しました。それまでグループ各社がそれぞれ進めていたCSR活動を見つめ直し、グループ全体で共有し、より多くの社員の意識を高め、CSRのいっそうの定着を図ってきました。

2015年6月に上場会社に適用が開始された「コーポレートガバナンス・コード」についても対応を進め、同年12月には「コーポレートガバナンスガイドライン」を制定。中期的な企業価値向上に向けてコーポレートガバナンスを強化しています。

生活者発想とパートナー主義

当社グループは設立以来「生活者発想」と「パートナー主義」をポリシーとして掲げてきました。

「生活者発想」とは私たちの発想の原点です。人々を単に「消費者」として捉えるのではなく、多様化した社会の中で主体性を持って生きる「生活者」として捉え、生活者を深くまるごと洞察し、理解することで、新しい価値を創造していくという考え方です。「生活者発想」では「それは生活者にとって、ほんとうに善いことか」という問いかけが極め

て重要になっています。生活者の集合が社会であり、「それは社会にとって、ほんとうに善いことか」という問いでもあります。

「パートナー主義」とは私たちのビジネスの原点です。常に生活者視点に立ってパートナーであるクライアント、媒体社のビジネスを見つめることにより、長期的な関係を築き、継続性のあるソリューションを提供していくという考え方で。

「生活者発想」と「パートナー主義」は、私たちグループのCSR活動の基盤となっています。

Advanced CSR と Basic CSR

当社グループでは社員一人ひとりが独自に取り組む積極的なCSRアクションを“Advanced CSR”、また、企業として果たすべきCSRの基盤となるアクションを“Basic CSR”と位置付けて展開しています。

Advanced CSRは当社グループ独自のもので、グループ社員一人ひとりが自らの仕事を見つめ直し、それぞれが持っているナレッジやスキルを活かしながら進めていく活動です。「自分の仕事は社会的責任を果たしているか?」、「もっと社会のためにできることはないか?」と主体的に考え、生活者、社会の渦の中に飛び込み、新たな渦をつくり出し、動かしていくことによって生まれるソーシャルアクションです。

Advanced CSRへの社員の関心や具体的なアクションも年々広がり、さまざまなテーマ・領域で多彩な活動が行われるようになってきました。CSRレポート2016では、それらの中から83件の事例をご紹介します。今回、事例をご紹介しますにあたり、世界の優先課題として2015年に国連サミットで採択された「持続可能な開発目標 (Sustainable Development Goals=SDGs)」の17目標を用いました。それぞれの活動事例は多様な目標領域に広がっていますが、いずれも社外の方々との連携や協働により成り立っているものがほとんどです。当社グループのCSRが、社会や人々とのつながり、パートナーシップによって成り立ち、また、ステークホルダーの皆様のご理解、ご支援に支えられていることを、あらためて強く認識しています。

社員一人ひとりの志のもとに

当社グループは、「生活者発想」と「パートナー主義」のもと、グループ各社社員一人ひとりが志を持って、クリエイティビティ、知見や技術、行動力によって、より積極的に、柔軟にCSRを継続進化させ、社会的責任を果たしてまいります。

ステークホルダーの皆様には当社グループのCSRに対するご意見、ご感想をお寄せくださいますようお願い申し上げます。